

第2部 都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム

- I 自ら未来を切り拓く力の育成
- II 生徒目線に立った支援の充実
- III 質の高い教育を実現するための環境整備

【注意事項】

令和6年度の実施については、現時点での予定であり変更が生じる可能性があります。
確定した内容ではありませんので御留意ください。

実行プログラムにおける施策の体系

▶ 3つの方向性に基づき、30の施策を展開

I 自ら未来を切り拓く力の育成

- 1 TOKYO スマート・スクール・プロジェクトの推進
- 2 教科「情報」の充実とデジタル人材の育成
- 3 グローバル人材の育成に向けた使える英語力の強化
- 4 国際交流・海外派遣の推進
- 5 探究的な学びの充実
- 6 進学指導体制の充実
- 7 理数教育の充実
- 8 「得意な才能」を伸ばす教育
- 9 高大連携の推進
- 10 体力の向上
- 11 部活動の振興
- 12 島しょにおける教育の充実

II 生徒目線に立った支援の充実

- 1 不登校生徒・中途退学者に対する支援
- 2 ヤングケアラーに対する支援
- 3 日本語指導が必要な生徒に対する支援
- 4 都立高校における特別支援教育の充実
- 5 ユースヘルスケアの推進
- 6 保護者の教育費負担の軽減

III 質の高い教育を実現するための環境整備

- 1 学校の魅力発信
- 2 普通科の活性化
- 3 専門学科(職業学科)の活性化
- 4 総合学科の活性化
- 5 理数等に関する学科の設置
- 6 定時制課程の改善・充実
- 7 通信制課程の改善・充実
- 8 入学者選抜の改善
- 9 カーボンハーフに向けた取組の充実
- 10 教員の資質・能力の向上
- 11 教員確保策の更なる充実
- 12 働き方改革の推進